

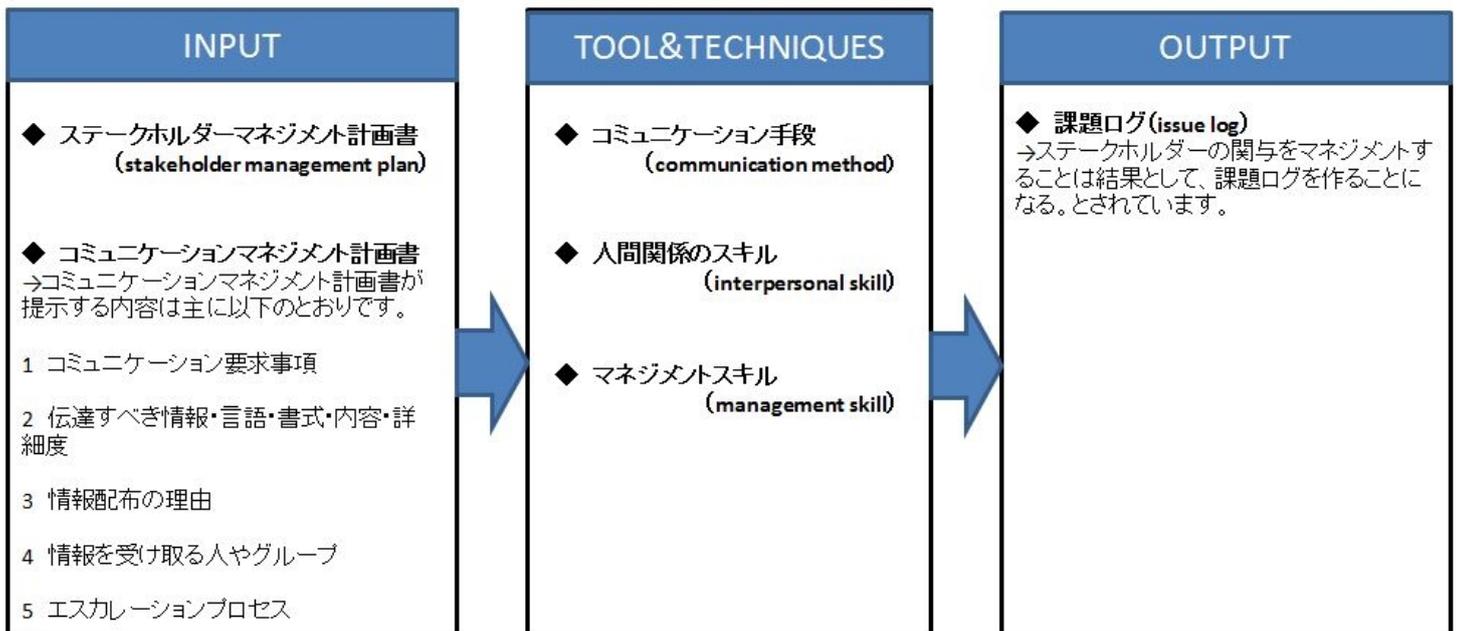
# プロジェクトマネジメント講座

## 13.3 ステークホルダーマネジメント ステークホルダーエンゲージメントマネジメント

ステークホルダーのニーズ、期待に応えるために、ステークホルダーと話し合い、発生した問題への対処を行うプロセス。具体的には以下のとおり。

- ・プロジェクトの成功に対する継続的な関与を確認する
- ・ステークホルダーの期待をマネジメントする
- ・まだ問題ではない関心事に取り組む、そしてステークホルダーによってもたらされる将来的な問題を予測する
- ・特定された問題を明確にし、解決する

概要は以下のとおり



本プロセスにおける特徴的な内容は以下のとおり。

### 13.3.1 ステークホルダーエンゲージメントマネジメント【インプット】

- ステークホルダーマネジメント計画書  
様々なステークホルダー意思疎通のレベルを決定する際に利用される計画書
- コミュニケーションマネジメント計画書  
→コミュニケーションマネジメント計画書が提示する内容は主に以下のとおり。
  - 1 コミュニケーション要求事項
  - 2 伝達すべき情報・言語・書式・内容・詳細度
  - 3 情報配布の理由
  - 4 情報を受け取る人やグループ
  - 5 エスカレーションプロセス

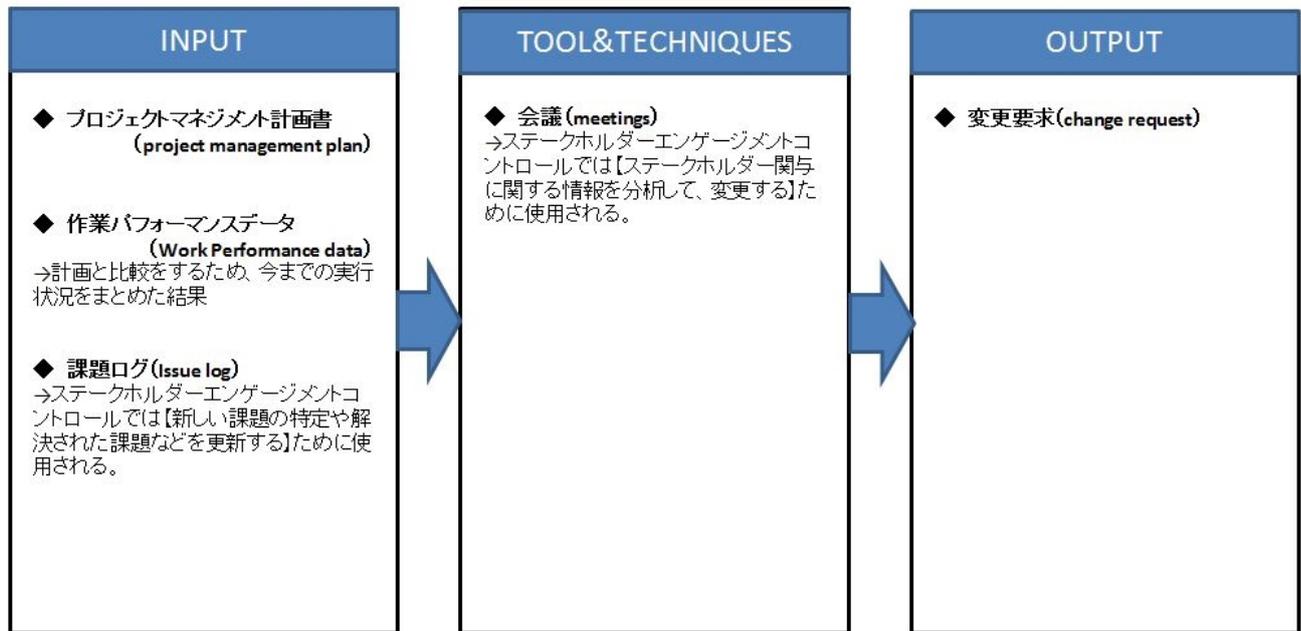
### 13.3.3 ステークホルダーエンゲージメントマネジメント【アウトプット】

- 課題ログ (Issue Log)  
ステークホルダーの関与をマネジメントすることは、結果として課題ログを作成することになるとされている。課題ログに

は、課題解決の予定日を設定する、また課題を未解決にしておくことは、コンフリクトやプロジェクト遅延の主な原因になることがある。

## 13.4 ステークホルダーマネジメント ステークホルダーエンゲージメントコントロール

全ステークホルダーの関係を監視して、ステークホルダー関与のために戦略と計画を調整するプロセス。概要は以下の通り。



その他特徴的な内容は以下のとおり。

### 13.4.1 ステークホルダーエンゲージメントコントロール【インプット】

- プロジェクトマネジメント計画書（計画値）…当初計画の確認
- 作業パフォーマンスデータ（実績値）

### 13.4.2 ステークホルダーエンゲージメントコントロール【ツールと技法】

- 会議  
【ステークホルダー関与に関する情報を分析して、変更する】ために使用される。

### 13.4.3 ステークホルダーエンゲージメントコントロール【アウトプット】

- 変更要求  
計画通りにステークホルダーの管理ができていない場合、変更要求が提案される。